

中国・四国ブロックのエイズ発生動向の概要

1 HIV感染者・AIDS患者の報告数

平成27年に報告された全国のHIV感染者数は1,006件（前年1,091件）、AIDS患者数は、428件（前年455件）、両者を合わせた新規報告件数は1,434件（前年1,546件）であった。

中国・四国ブロック内のHIV感染者数は47件（前年45件）、AIDS患者数は37件（前年30件）、両者を合わせた新規報告件数は84件（前年75件）であった(図1、図2)

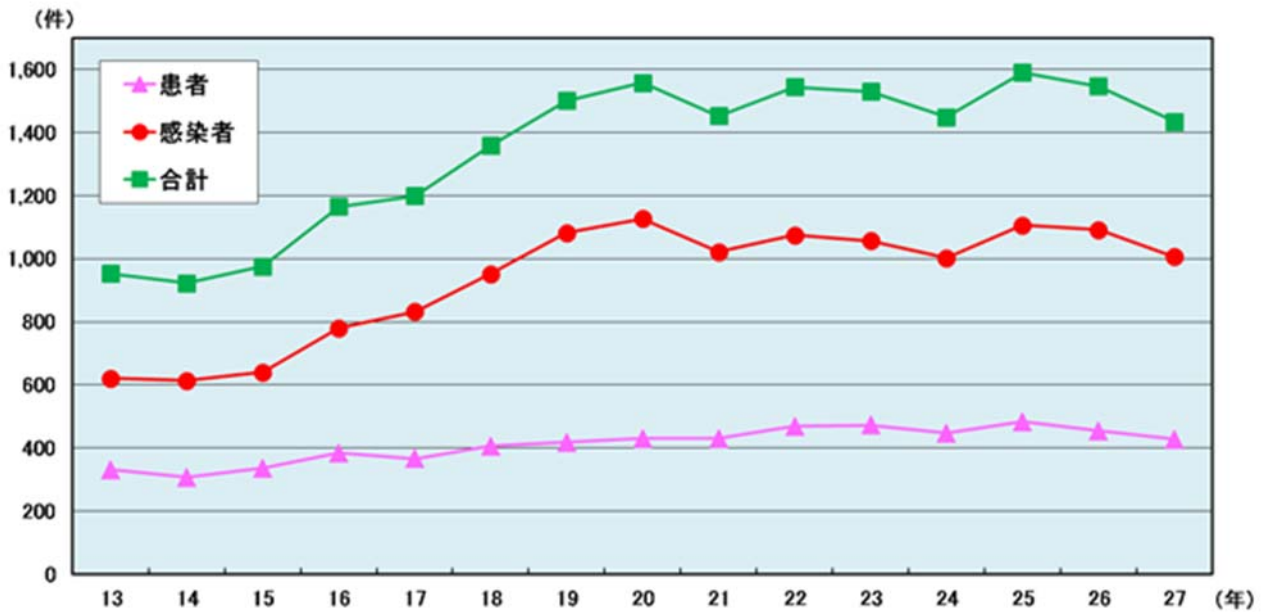


図1 全国のHIV感染者・AIDS患者の報告数

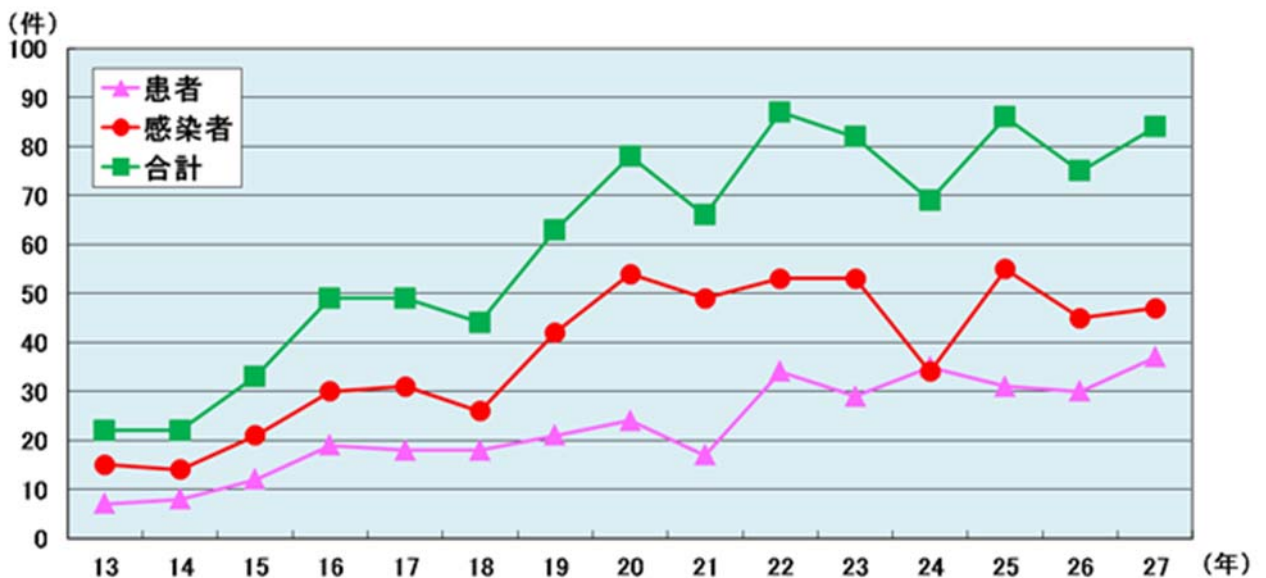


図2 中国・四国ブロックのHIV感染者・AIDS患者の報告数

2 全国の HIV 感染者・AIDS 患者の感染経路別内訳（平成 27 年）

（1） HIV 感染者について

全国で平成 27 年に報告された HIV 感染者の感染経路は、異性間の性的接触が 196 件(19.5%)、同性間の性的接触が 691 件(68.7%)で、性的接触によるものは合わせて 887 件(88.2%)を占めた（図 3）。

また、静注薬物使用が 2 件、母子感染は 1 件報告があった。

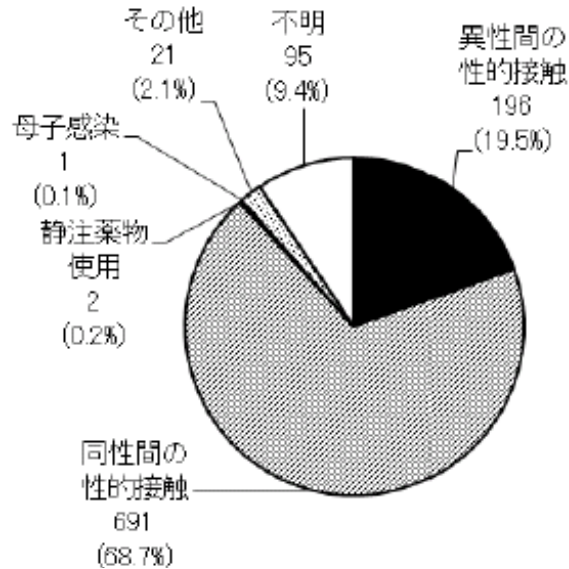


図 3 全国の HIV 感染者の感染経路別内訳(平成 27 年全国報告例)

（2） AIDS 患者について

全国で平成 27 年に報告された AIDS 患者の感染経路は、異性間の性的接触による感染が 85 件(22.2%)、同性間の性的接触による感染が 250 件(58.4%)で、性的接触による感染は合わせて 345 件(80.6%)を占めた（図 4）。

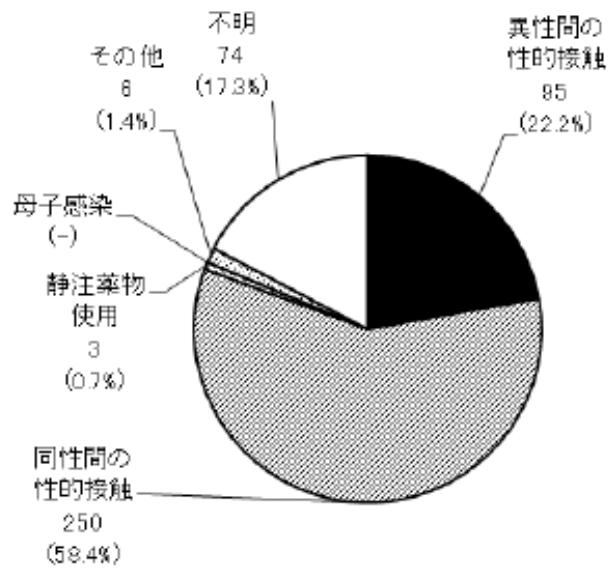


図 4 全国の AIDS 患者の感染経路別内訳(平成 27 年全国報告例)

3 中国・四国ブロックの都道府県別の報告数について（平成 27 年）

全国のHIV感染者・AIDS患者報告数の上位都道府県をみると（表1，表2），人口10万人当たりのHIV感染者数で岡山県が4位，徳島県が6位，香川県が9位となっている。

また人口10万人当たりのAIDS患者報告数で香川県が1位，高知県が3位となっている。

なお，中国・四国ブロック各県のHIV感染者・AIDS患者の人口10万対の累積報告数は，表3のとおりである。

HIV感染者・AIDS患者報告数上位10位の自治体

表1 HIV感染者上位自治体

自治体	報告数	自治体	人口10万対
1 東京都	364	1 東京都	2.718
2 大阪府	168	2 大阪府	1.901
3 愛知県	62	3 沖縄県	1.196
4 神奈川県	54	4 岡山県	0.884
5 北海道	35	5 愛知県	0.832
6 千葉県	32	6 徳島県	0.785
7 福岡県	30	7 奈良県	0.727
8 埼玉県	22	8 宮崎県	0.718
9 静岡県	21	9 香川県	0.714
9 兵庫県	21	10 岐阜県	0.686

表2 AIDS患者上位自治体

自治体	2015報告数	自治体	人口10万対
1 東京都	71	1 香川県	0.917
2 大阪府	53	2 沖縄県	0.704
3 愛知県	43	3 高知県	0.678
4 神奈川県	33	4 宮崎県	0.628
5 福岡県	27	5 大阪府	0.600
6 千葉県	22	6 愛知県	0.577
7 埼玉県	13	7 福岡県	0.530
8 北海道	12	8 東京都	0.530
9 岐阜県	10	9 岐阜県	0.490
9 広島県	10	10 滋賀県	0.424
9 沖縄県	10		

表3 中国・四国ブロックの人口10万対の累積報告数

	HIV感染者	AIDS患者
鳥取県	2.439	2.787
島根県	2.582	1.004
岡山県	6.965	3.846
広島県	7.377	3.918
山口県	4.119	1.491
徳島県	4.581	2.749
香川県	5.810	4.689
愛媛県	5.305	3.871
高知県	4.743	3.252
中国・四国ブロック	5.604	3.306
全国	14.092	6.363

4 HIV 抗体検査及び相談

平成 27 年の中国・四国ブロックにおける HIV 抗体検査件数は 7,905 件（前年 9,080 件）と減少し、相談件数も 10,150 件（前年 11,846 件）と減少した（図 5）。

また、平成 28 年第 1～3 四半期における HIV 抗体検査件数は 4,891 件（前年同時期 5,483 件）、相談件数は 6,429 件（前年同時期 7,318 件）と、いずれも前年同時期と比較し減少している（表 4、表 5）。

これらのことから、保健所等における無料・匿名の HIV 抗体検査及び相談の推進や普及啓発活動等、一層の取組が必要である。

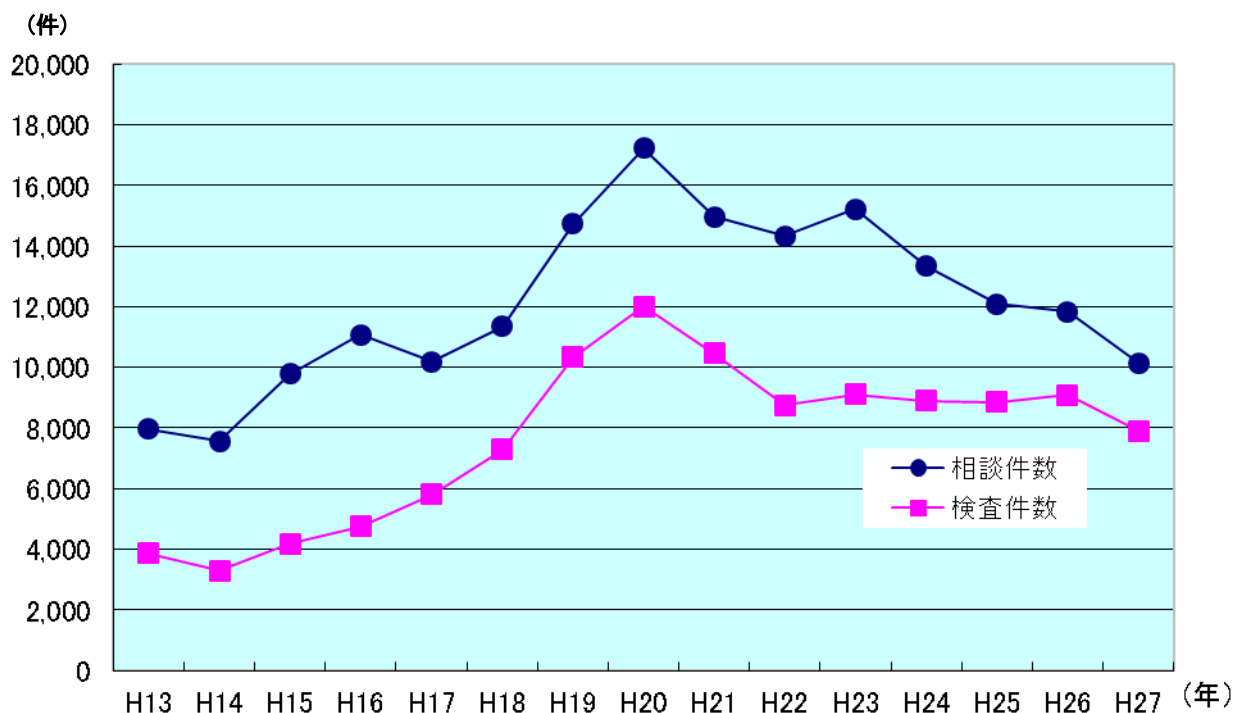


図 5 中国・四国ブロックの HIV 抗体検査・相談件数の年次推移

表 4 中国・四国ブロック保健所等における HIV 抗体検査件数

	H27 第 1～3 四半期	H28 第 1～3 四半期
鳥取県	398	442
島根県	233	201
岡山県	734	690
広島県	1,576	1,319
山口県	646	541
徳島県	539	500
香川県	256	221
愛媛県	769	722
高知県	332	255
計	5,483	4,891

表 5 中国・四国ブロック保健所等における相談件数

	H27 第 1～3 四半期	H28 第 1～3 四半期
鳥取県	6	20
島根県	263	208
岡山県	1,321	1,237
広島県	3,346	2,781
山口県	501	377
徳島県	656	639
香川県	218	262
愛媛県	934	870
高知県	73	35
計	7,318	6,429

※第 1～3 四半期とは、1 月から 9 月のこと